

家畜衛生情報 No.2 平成30年4月26日



西北地域県民局地域農林水産部 つがる家畜保健衛生所

津軽地区家畜衛生推進協議会

つがる市木造若竹2-1

TEL 0173-42-2276 FAX 0173-42-6087

ゴールデンウィーク期間中 口蹄疫等の防疫対策の徹底を！

韓国など東アジア地域においては口蹄疫の発生が継続して確認され、アフリカ豚コレラについてもロシアや欧州で発生が継続しています。

今月末からゴールデンウィークを迎えるにあたり、海外と日本を往来する旅行者が増加し、我が国への病原体の侵入リスクは高くなると考えられ十分注意が必要です。

家畜飼養者の皆様は、病原体を侵入させないために**飼養衛生管理基準の順守を徹底**しましょう。

従来からの防疫対策に加え、下記の事項に留意してください！

- 口蹄疫等が発生している国への渡航を可能な限り自粛してください
- 渡航した場合
 - ・ 農場やと畜場等の**畜産関連施設に立ち入らない**
 - ・ 動物との**不用意な接触をさける**
 - ・ 肉製品等を**持ち帰らない**
 - ・ 帰国した際には**動物検疫所カウンター**に立ち寄り**家畜防疫官の指導を受ける**
- 帰国後
 - ・ **一週間は必要以外に衛生管理区域へ立ち入らない**
 - ・ 海外で使用した衣服等は衛生管理区域に**持ち込まない**
持ち込む場合は**洗浄・消毒する**
- 衛生管理区域への**病原体の持ち込みを防止**
 - ・ 必要のない者を立ち入らせない、不要な物を持ち込まない
 - ・ やむを得ず人が立ち入る場合や物を持ち込む場合には**洗浄・消毒を徹底する**



リーフレットも参考に！

飼養している**家畜に異常**が見られた場合は、**すぐに家畜保健衛生所へご連絡下さい！**

**つがる家畜保健衛生所 0173-42-2276
土日休日緊急用携帯 090-8788-7459**

韓国で口蹄疫が発生!

今一度、発生予防を徹底しましょう!

韓国では、2018年3月に13か月ぶりに豚で口蹄疫（A型）の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

過去の日本での発生をみると
まず韓国で発生しています！



2000年 → 2000年

2002年

2010年 → 2010年
↓
2011年

2014年
↓
現在

侵入する可能性
は非常に高い!!

韓国における口蹄疫の発生状況
(2018年3月以降)

2018年4月2日現在

京畿道(2件)

3月26日 金浦(キンポ)市 豚（A型）
3月28日 金浦(キンポ)市 豚（血清型検査中）

● : 発生地点

発生確認件数: 2件
(A型: 1件、血清型検査中: 1件)

※ 日は症状の発現日又は検体の採取日
(韓国農林畜産食品部資料より)

発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、関係者以外の立入を制限しましょう。
- 農場に持ち込む物品や出入りする車両の消毒を徹底しましょう。
- 農場や畜舎の出入口に踏込消毒槽等を設置することにより、出入りする人の靴底の消毒を徹底しましょう。
- 従業員の方も含め、口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控えるとともに、これら国の農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察を行いましょう。



効果的な消毒を実施しましょう！

◎ 効果的な消毒のポイント

- 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、まずは汚れを落としてから消毒しましょう。また、消毒薬が汚れていたら、直ちに交換しましょう。
- 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、泥よけの内側部分や運転席の足元スペースも可能な限り消毒しましょう。

《要注意》

★ 逆性石けんは口蹄疫の消毒薬としては不適です！

★ 消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！

推奨される
踏込消毒槽の設置方法



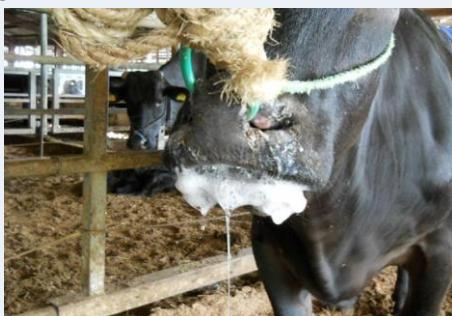
② 消毒液
の槽
↑
① 水洗
の槽

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



～豚の症状～



< A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果 >

写真：動物衛生研究部門提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている



接種3日目



接種4日目

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに獣医師や最寄りの家畜保健衛生所に連絡しましょう。

牛では、1頭のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に拡がるなど、群としての異状の有無を確認することが重要です。

連絡先：

最寄りの家畜保健衛生所の
連絡先を記入しておきましょう！